



インプレス

コロナで変わる社会、動画配信の今後を占う

動画配信ビジネス調査報告書 2020

: With/Afterコロナで変わる社会、動画配信の今後を占う

森田 秀一 インプレス総合研究所 著 2020年発行



外出自粛の中で家で楽しめる動画配信サービスのニーズは高まり急速に利用が拡大。リアルイベントの代替としてライブ動画の配信も活発に行われています。他方、AppleTV+やディズニ+が開始され競争は激化。ネットによる同時配信&見逃し配信のNHKプラスも始まり今後は民法各社にも影響を与えると見られています。新型コロナウイルス感染症による社会が変わっていく中、動画配信ビジネスの最新概況や業界構造を分析し、今後を展望しています。



同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)
¥280,500	¥561,000

<冊子版ISBN: 9784295009757>

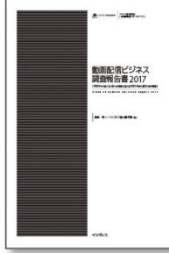
<商品コード: 1031927267>



動画配信ビジネス調査報告書 2019 : 相次ぐSVOD新規参入とAdVODの浸透—国内事業者の戦略を探る		同時1アクセス(本体)	¥280,500
		同時3アクセス(本体)	¥561,000
		冊子版ISBN	9784295006602
著編者名	森田 秀一	発行年	2019
		商品コード	1030590898
<p>順調に成長している動画配信市場の最新概況や業界構造、ビジネス構造や収益モデルなどについて徹底分析するほか、国内の注目すべき事業者の概要と戦略をそれぞれ解説します。</p>			



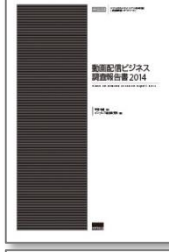
動画配信ビジネス調査報告書 2018 : リニア配信・広告・オリジナルコンテンツ等、差別化を図る事業者の戦略を追う		同時1アクセス(本体)	¥280,500
		同時3アクセス(本体)	¥561,000
		冊子版ISBN	9784295003939
著編者名	森田 秀一	発行年	2018
		商品コード	1027914437
<p>本調査報告書第4章〜第6章のユーザー調査結果データ(Excel形式)が版元サイトよりダウンロードが可能です。詳細は「掲載データの取扱いについて」2ページ目をご参照ください。 ※書籍版付録のCD-ROMは、付いておりません。 動画配信市場はオンデマンド配信が主であったが2016年度に開始されたライブストリーミング形式のAbemaTVやDAZNが着々と利用者数を伸ばしている。2017年にはdTVチャンネルも開始、オンデマンド配信・リニア配信・ライブ 有料・広告モデルが入り乱れて競争が激化し 更にはLIVE動画での投げ銭市場も立ち上がってきている。本書は動画配信ビジネスに関して 最新概況や業界構造などを徹底分析するほか、注目すべきサービスの概要と戦略をそれぞれ解説する。また 実際に動画配信を利用しているユーザーの利用動向を詳細に調査し 今後の展望する。</p>			



動画配信ビジネス調査報告書 2017 : DAZN日本参入など新たな局面を迎えるVOD市場の現状と将来展望		同時1アクセス(本体)	¥224,400
		同時3アクセス(本体)	¥448,800
		冊子版ISBN	9784295001898
著編者名	森田 秀一	発行年	2017
		商品コード	1024989209
<p>本書は、活発化する動画配信ビジネスに関して、第1章で歴史や最新概況、業界構造・ビジネス構造などについて徹底分析するほか、第2章では、国内・海外の注目すべき46の動画配信サービスの概要を個票形式で紹介する。また、インターネットユーザーの有料の動画配信サービスに対する意向や、実際に動画配信を利用しているユーザーの利用動向を詳細に調査し、その利用実態を明らかにしている。単純集計だけではなく、「料金体系別」「性年代別」「視聴環境別」などのクロス軸に基づくExcelの数表とグラフも提供している。</p>			



動画配信ビジネス調査報告書 2016 : Amazon・Netflixにより加速したVOD市場、多様化する企業のビジネス戦略と今後を探る		同時1アクセス(本体)	¥171,600
		同時3アクセス(本体)	¥343,200
		冊子版ISBN	-
著編者名	森田 秀一	発行年	2016
		商品コード	1024547669
<p>2015年度は世界最大手Netflixの参入や、Amazonによるプライム会員向け映像配信サービス「プライム・ビデオ」の開始など大きな動きがありました。一方で、事業提携を含めた各社の取り組みも活発化しています。民放テレビ5局は見逃し番組配信ポータルサイト「TVer」を開始し、テレビ朝日とサイバーエージェントによる無料ネットテレビ局「AbemaTV」開局など新しいサービスが開始されています。このように動画配信ビジネス市場全体が盛り上がりを見せており、今後動画配信ビジネスが本格的に拡大することが予想されます。本調査報告書では、動画配信ビジネスに関して、その最新概況や業界構造、ビジネスモデルや収益モデルなどについて徹底分析するほか、国内・海外の注目すべき事業者の概要と戦略をそれぞれ解説し、今後の動画配信ビジネスを展望しています。</p>			



動画配信ビジネス調査報告書 2014		同時1アクセス(本体)	¥224,400
		同時3アクセス(本体)	¥448,800
		冊子版ISBN	-
著編者名	甲斐 祐樹	発行年	2014
		商品コード	1016123450
<p>動画配信市場は順調に成長しており、海外事業者の日本参入も相次いでいます。そこで、本書では活発化する動画配信ビジネスに関して、その最新概況や業界構造・ビジネス構造や収益モデルなどについて徹底分析するほか、米国をはじめとする海外の代表的な動き、また、国内・海外の注目すべき事業者の概要と戦略をそれぞれ解説します。また、実際に動画配信を利用しているユーザーの利用動向を詳細に調査し、今後の動画配信ビジネスの予測推移も記載。</p>			



動画配信ビジネス調査報告書 2013		同時1アクセス(本体)	¥224,400
		同時3アクセス(本体)	¥448,800
		冊子版ISBN	-
著編者名	甲斐 祐樹	発行年	2013
		商品コード	1015462056
<p>本書は、活発化する動画配信ビジネスに関して、その歴史や最新概況、業界構造・ビジネス構造などについて徹底分析するほか、海外の動画配信市場と日本市場の差異、また、国内・海外の注目すべき事業者の概要をそれぞれ解説する。また、インターネットユーザーの動画配信サービスに対する意向や、実際に動画配信を利用しているユーザーの利用動向を詳細に調査し、その利用実態を明らかにした。</p>			



世界の動画配信ビジネス調査報告書2011		同時1アクセス(本体)	¥127,600
		同時3アクセス(本体)	¥255,200
		冊子版ISBN	-
著編者名	高木 利弘	発行年	2010
		商品コード	1011342761
<p>国内、海外の動画配信ビジネスの概況をはじめ、各キープレイヤーの最新動向、「Connected TV」についても分析する。また、IPネットワークによる動画配信は、特定のキャリアの通信網の会員内で完結する品質保証型サービスと、オープンなインターネット回線を使って誰でも利用できるベストエフォート型のサービス分けられるが、本調査報告書ではベストエフォート型の動画配信サービスを中心に紹介する。</p>			

● 表示価格は税抜きです。

2020年8月